



留学したい東北大生の応援マガジン

GCSレター Vol.4

発行日
2018年3月

交換留学経験者に完全密着！ 大学生生活全部見せます！

留学に興味はあるけれど、どうすればいいかわからない…。

今からでも間に合う…？

この「GCSレター」は、東北大生の留学を応援する留学応援マガジンです！今回は、実際に交換留学をした学生が、留学前、留学中、留学後にどんなことをしていたのか、どんな困難に直面していたのかを赤裸々に語ります！

What's GCS?

グローバルキャンパスサポーター（GCS）は、交換留学等の留学経験を持ち、留学先で得た経験や知識をもとに、これから留学を目指す学生を支援する学生サポーターです。

交換留学の基礎知識

交換留学の申請は、派遣開始のおよそ1年前からスタートします。そして、申請のためには語学能力証明、成績や、留学の目的・留学中に何をするのかを記した留学計画書等を提出する必要があります。いざ留学をしようと思った時に、英語のスコアがない！申請期限が過ぎていた！ということでチャンスを逃さないよう、計画的に準備をしていきましょう！



目次

- ◆1年生からコツコツ国際交流活動（シンガポール国立大学）……………#2
- ◆4年卒業プラン！（オウル大学）……………#3
- ◆人生楽しんだもん勝ち！（スイス連邦工科大学チューリッヒ校）#4
- ◆紆余曲折を経て、挫折の連続だった留学！（スイス連邦工科大学ローザンヌ校）#5
- ◆画的履修で5年修了！台湾留学（国立台湾大学）……………#6
- ◆全てのことに意味がある。（高麗大学校）……………#7
- ◆迷ったのなら、行ってから考えよう。（カリフォルニア大学アーバイン校）…#8
- ◆研究留学のすすめ（ペンシルベニア州立大学）……………#9

1 年生からコツコツ国際交流活動

山本日向子(経済学部/シンガポール国立大学留学)

1 年春

国際系のサークルや授業を履修

IPLANET や@home の活動に参加したり、日本人と留学生が共に学ぶ国際共修授業や国際系の授業を通じ、たくさんの留学生の友人ができました。

入学前から留学を希望していたので、サークル活動等も国際交流や英語のものを中心に見っていました

1 年夏

アメリカ短期留学(Study Abroad Program・カリフォルニア大学リバーサイド校)

交換留学への気持ちが高まるとともに、当時志望していたアメリカを留学先にすべきなのか真剣に考えるようになりました。

1 年秋

英語の課外授業

毎週末、英語のプレゼンやディスカッションを練習。

IPLA で留学生のチューターをしたり、留学生と共に学ぶ国際共修授業を履修したりしました

1 年 2 月

ロシア短期留学(Tohoku University Cross-Cultural Program with Russia)

国際交流の楽しさを再度実感。

1 年 3 月

英語の課外集中授業

IELTS に会う。

授業では、その後同時期に留学に出發する友人がたくさんでき、モチベーションが高まりました。

コミュニケーションを重視しない TOEFL-ITP® に疑問を持っていたこと、また点数が伸び悩んでいたことで下がっていたモチベーションが、IELTS に出会って高まりました

2 年春

IELTS を複数回受験

点数を提出し、6月の交換留学二次募集でシンガポール国立大に応募。

2 年 1 月～3 年 5 月

交換留学期前期

始めは英語ができないことでへこたれることも多くありました。夏休みにバディや、バディに紹介してもらったシンガポール人の友人たちに言葉の練習につき合ってもらって、克服していきました。

※バディ：留学生が大学になじめるよう大学側が紹介してくれる現地の学生。私は毎週会う時間を作ってもらって、休日はバディの友達に混ぜてもらって遊びに行くなどしていました。

3 年 6 月～12 月

交換留学期後期

留学期生活も軌道に乗り、授業の他にもインターンシップに取り組むなど充実した留学期生活になりました。

3 年 2 月

就職活動開始

留学先紹介 & 英語の試験について



シンガポール国立大学

シンガポール国立大学。アジアトップの大学で、学生の3割を留学生が占めるので、国際色豊かな留学を考えるならおすすめです。市街地へのアクセスもよく、学生寮や施設もしっかりしているので、充実した留学期生活を過ごせること間違いなし！



交換留学に必要な英語の試験

交換留学の出願の際、英語の能力を証明するために利用する試験は①TOEFL-ITP®、②TOEFL-IBT®、③IELTS の3種類があります。

異なるのは受験料金と問題のセクションの数です。TOEFL-ITP®は安価でリスニングとリーディングのみである一方、TOEFL-IBT®とIELTSはスピーキングやライティングなどのアウトプットの能力も測られます。そのため、後者の2つは受験料がやや高価になりますが、個人的には、スピーキングやライティングの対策も行っていましたが、留学期開始後の生活にも大変役立ちました。

4年卒業プラン！

米田佑(教育学部/オウル大学留学)

1年春休み

フィリピン語学留学(民間業者経由)

人生初留学。英語の授業を受講するとともに、観光も楽しみました。

帰国後の TOEFL ITP®の得点が60点程上がっていました。フィリピン留学は安いおすすめです。

2年9月～3年5月

フィンランド交換留学

4年で卒業したいという思いから、学部2年の9月から留学を開始しました。また、現地ではできるだけ単位互換が可能な授業を履修しました。

4年で卒業するには、より戦略的に行動する必要があります。留学中に履修した授業で紹介された文献(Learning to Labour: How Working Class Kids Get Working Class Job (by Paul Willis))が面白く、帰国後は、その文献の分野(教育学社会学)の研究室に入ることになりました。卒業論文で取り扱った研究テーマもこの文献から着想を得ています

基本的には、学部2年生が受講するレベル、専門初期段階相当の授業を履修していました。その中でも、後期は

少しチャレンジしようと大学院生向けに開講されている授業を履修しました。

帰国後

単位互換

16単位互換することができました。

例えば、現地の授業が1授業8単位でも、互換結果は2単位ということもありました。

3年6月～3年9月

インターン

帰国後は就職も考えていたため、インターンに参加しました。面接では主に上記の留学のことについて話をしました。結果的に4つの業界(保険、ITベンチャー、コンサル、ネットリサーチ)で短期・長期のインターンに参加しました。

3年10月-4年1月

卒論執筆に向けて

大学院進学を考えていたので、人一倍頑張ろうと思いました。

上記のインターンを経て、大学院に進学してみたいという思いが逆に強くなりました。大学院進学を予定していた分、より頑張ろうと思い、多くの時間を卒業論文執筆に関する勉強、研究に費やしました。

留学生活紹介



オウル大学

東北大学よりもさらに木々に囲まれている大学です。とても静かな場所で、現地の人たちも大変穏やかな人が多い印象でした。



勉強

宿題として読んできたものについての議論や、その場で映像をみせられて、そのことについて議論するなど、議論を主軸とする授業が多い印象でした。毎回、今日の議論は貢献できたか否かで一喜一憂する日々でした。

INTERNATIONAL SYSTEMS WEEK SIMULATION - Undergraduate Level
(October 22nd to November 13th, 2015)

CONFERENCE	DATE	TIME
Environment and Natural Resources #1	Monday, October 26th 2015	13:00 GMT (JAMSEDT)
Humanities Exchange #1	Tuesday, October 27th 2015	14:00 GMT (JAMSEDT)
Trade and Development #1	Wednesday, October 28th 2015	13:00 GMT (JAMSEDT)
Gender Security #1	Thursday, October 29th 2015	14:00 GMT (JAMSEDT)
Environment and Natural Resources #2	Friday, November 6th 2015	14:00 GMT (JAMSEDT)**
Humanities Exchange #2	Wednesday, November 11th 2015	14:00 GMT (JAMSEDT)**
Trade and Development #2	Thursday, November 12th 2015	13:00 GMT (JAMSEDT)**
Gender Security #2	Monday, November 16th 2015	14:00 GMT (JAMSEDT)**

**NOTE: Daylight Saving Time in the United States and Canada ends on Sunday, November 1st.

活動

休日に友人とサッカーをしたり、長期休みに他の国に旅行する等していました。

人生楽しんだもん勝ち！

冬木悠生(理学研究科/スイス連邦工科大学チューリッヒ校留学)

1 年春

アメリカ短期留学(Study Abroad Program・カリフォルニア大学リバーサイド校)

カリフォルニア大学リバーサイド校で3週間のボランティア活動および現地での国際交流を体験。

初めての海外で全てが新鮮でした。行くまで少し不安だったけど、ここが海外挑戦のスタート地点

2 年冬

ロシア短期留学(Tohoku University Cross-Cultural Program with Russia)

ロシアのノヴォシビルスク大学にて2週間の短期留学。

-20℃で裸になるのは、危険なのでやめた方がいいです。ばななで釘が打てます。

2 年春

英語の課外授業

春休み1ヶ月使って学内の短期集中講座を受講。

TOEFLのスコア向上、スピーキング能力の強化を目指しました。

3 年夏

国際交流祭り

TUFSAに参加し、国際交流祭りの開催をサポート。

留学中前期セメスター

有機化学の研究と授業

英語およびドイツ語で研究と授業に動んでました。

現地では寮生活を送っており、国や専門分野の壁を超えて多種多様な友人を持つことができました。コミュニケーションは、基本的には英語で過ごしていましたが、やはり留学当初の語学能力では会話の流れに乗れないことがしばしばありました。語学の問題を打破するためにも、できる限り自分から会話をするように心がけていました。帰国する頃にはコミュニケーションで戸惑うことはほとんどなかったと思います。様々なバックグラウンドを持つ友人たちとの会話はいつも刺激的でした。

留学中後期セメスター

研究・授業・インターン

授業と並行して、現地製薬ベンチャーにてR&D部門のインターン(5ヶ月)

故郷のとやまふるさと大使になって、富山県の製薬研究者のポスターセッションのお手伝いなどもしていました。

4 年 3 月

帰国後、院試を経て4年で卒業。

留学≠留年と思われていましたが、周囲のサポートと全力で挑んだ経験のおかげで留年することなく卒業することができました。

留学生活紹介



スイス連邦工科大学チューリッヒ校

スイス連邦のドイツ語圏であるチューリッヒに1855年に設立された大学。これまでにノーベル賞受賞者を21名輩出、その中にアルベルト・アインシュタインも含まれています。留学生比率37%、外国人教員比率67%であり、とてもグローバルな環境です。



研究

留学期間中は研究:座学=8:2で行ってました。現地での研究では薬理作用を持つ化合物の合成をテーマに取り組んでいました。最先端の研究室で求められる知識や実験スキルはとて高く、ついていくのに毎日必死でした。しかし、研究室にはPh.D(博士課程)の先輩が多く在籍しており、学部生の自分に対しても優しくサポートしてくださったおかげで、一つずつスキルを身につけていくことができました。座学では専門分野の有機化学を中心に授業を履修し、日々新しい知識の習得を楽しんでいました。

紆余曲折を経て、挫折の連続だった留学！

工藤知央(工学研究科/スイス連邦工科大学ローザンヌ校留学)

学部 1 年冬休み

アメリカ短期留学(Study Abroad Program・カリフォルニア大学リバーサイド校)

人生初の海外で初めて英語で生活する経験！思いのほか英語が通じ、その後の留学意欲は無くなる。

優秀な東北大の仲間とも出会いました！

学部 2 年夏休み

サマースクール(タイ)

仲のいい友人が短期留学するため、夏休みが暇になると思い自分も申請。たまたま外国人が多いプログラムで、英語力の差を痛感。

人生をドライブさせる事柄は成功経験より、つらい経験でした！

学部 2 年冬休み

スペイン短期留学(Study Abroad Program)

部活の傍ら海外経験を積もうと参加。まさかのスペイン語プログラムで衝撃を受けるが、英語以外の言語や文化圏の重要性を認識。

学部 3 年夏休み

サマースクール(台湾)

世界中から学生が集まるプログラム。世界に視野を広げると、留年を気にせず

判断基準の地理的な観点が日本国内から世界に変わった瞬間。

留学に挑戦する学生が普通にいることを知り、自分の周りの価値観にとらわれず長期留学申請を決意。

学部 3 年冬

英語サークル・各種申請

英語のアウトプットの機会を確保しつつ、何を求めるために留学するのかを考え留学計画を何度も考えました。

学部 4 年夏

留学生受け入れ

東北大のサマースクールにボランティアとして参加し、留学を疑似体験。

留学前期

授業・模擬国連

挫折の毎日だったが、日本人が少なかったこともあり、日本人の評判の為にとにかく行動と交流を続けた。

またとない友人との出会い。意外と自分のことを考える時間も多かったです。

留学後期

研究・模擬国連・企業訪問

留学中に計画していた事柄をすべて実行。充実度が急激に上がる。

学部 4 年後期

英語研究発表コンテスト・研究

留学中の経験が活き、研究が充実。GCSとして色々な企画を提案・実行。

留学生活紹介



スイス連邦工科大学ローザンヌ校

見ての通り、アジア人が集まることもなく、世界中から多くの学生が学んでいました。



勉強

研究を共にしたメンバーの写真です。研究はディスカッションに富み、効率よく行う文化で、満足できる成果を残せました。研究環境とメンバーは世界屈指の素晴らしいものです。



活動

模擬国連(国連の議題について話し合うクラブ活動)の打ち上げの写真です。地理的要因からか、国際情勢への感度の高さを感じました。日本ほど部活動やサークルは盛んではないようで、試験がハードなため勉強している学生も非常に多かったです。

計画的履修で5年修了

柏瀬あすか(経済学研究科/国立台湾大学留学)

学部1年

国際交流活動は皆無(部活漬け)

学部2年夏

ベトナム短期留学(SAP・FTU)

部活は忙しかったが海外留学をあきらめられず、まずは短期留学に挑戦。アジア経済に興味を持つ。

学部2年秋

交換留学学内申請

アジアに興味を持ったので、アジアにある、ハイレベルな大学を検討。中国語と英語両方鍛えられる台湾を選択。

この時点では4年卒業を考えていたため、集中講義などは積極的に履修していた。今思えば、これがないと4年冬の先行履修はできなかったかも…

学部2年冬休み

インドネシア短期留学(UGM)

災害復興と農業について学ぶために一人でガジャマダ大学へ。自分以外ほぼイスラム教徒の環境で生活。

大学3年6月

国際学生フォーラム(APSLF 2015)

シンガポール国立大学での学生会議。学術的内容を英語でディスカッションすることの難しさを痛感した。

大学3年9月

交換留学スタート

他の日本人留学生在が優秀すぎて自信喪失。台湾留学ならでの悩みかも。

交換留学期前期

中国語・英語・インターン

前期は中国語(毎日)、東南アジア考古学、台湾の地理学、サービスラーニングの授業を履修。台湾のベンチャー企業で翻訳のインターンを始めた。

交換留学後期

中国語・歴史・国際関係論

後期は中国語(毎日)、東南アジア考古学、国際関係論を履修。国際関係論はアジアのFTAが及ぼす影響をグループで調査したが、自分以外全員中国語ネイティブだったためディスカッションが中国語になり、言語的にも精神的にも鍛え上げられた。

授業の予習にかなり時間がかかるため、東北大のフリで時間割を立てると修羅場になる。

帰国

単位互換(6単位)

学部4年冬

卒論提出・院試

帰国後、留学経験をベースに卒論執筆。大学院の選考履修もした。院試も受け合格。4年で学部を卒業した。

経済学部の5年一貫コース(GPEM)に進学を希望しました。

修士1年

GPEM 進学・就職活動・修論

GPEMに進学。授業をうけつつ、就活・修論執筆をし1年で修了。

留学生活紹介



国立台湾大学

台湾最高峰の大学で、日本とのゆかりも深い大学です。授業以外に講演会や学生会議も多く開催されるため、実務家の方のお話を聞く機会もたくさん得ることができます。



国際関係論の授業

発言による授業への貢献が求められます。専門科目については、単位を取ることは簡単でも、いいスコアを取ることは難しいため、課題に加えて、毎回きちんと予習復習することが必要です。



日本台湾学生会議

留学中、台湾人の友人を作るために所属した団体。帰国後もこの団体を通じて多くの学びの機会を頂きました。

全てのことに意味がある。

小野遥太(法学研究科/高麗大学校留学)

学部 1 年 4 月～7 月

トルコ留学生サークルに加入
国際交流のきっかけに！

学部 1 年夏休み

韓国・釜慶大学校に短期留学
海外での大学生活の面白さを知る。

学部 1 年 10 月～1 月

国際祭りに参加、サークルでも幹部と
して企画に参画。だが TOEFL®は
450 点。海外への壁を思い知る。

学部 2 年冬休み

1 日の半分を英語で過ごし、無事に
語学要件をクリア

成績も大事だよ！ グローバリゼーションの講義の評価が C で、サークルの仲間に笑われました！

学部 2 年 4 月～7 月

6 月に留学申請。
サークルや IPLANET の活動に参加

学部 2 年夏休み

TUJP に初代ボランティアとして参加
SAP でベトナム貿易大学に短期留学

ベトナムでは「勝てない日本企業」の姿を目の当たりにした。

学部 2 年 10 月～1 月

ビザや寮、奨学金の申請

唯一仙台でビザが取れる国、それが韓国。

2 年 3 月～3 年 6 月

韓国・高麗大学校への交換留学期
①アジアビジネスの授業で日本ブームを起こす。②台湾の市民運動をきっかけに、目の前で中国人と台湾人がもめていたのが、印象に残る。

「勝てない」のは現地の姿を知らないからだ実感。この二つが「台湾とは何か」考えるきっかけに。

学部 3 年 9 月～12 月

交換留学後期

香港で市民運動が起こった際、前期に会った香港の友人たちが参加していることに衝撃を受ける。

学部 4 年 4 月～8 月

帰国・キャリア選択の時期

「福島スタディツアー」や寮の留学生との交流で、留学での知見が活かされたものの、なんとなく不完全燃焼のまま。

学部 4 年 10 月～3 月

大学院進学を決意

ゼミの先生のおかげで、大学院で得られる「専門性」や「学術的知見」の重要性に気づく。

学部 4 年(2 回目)4 月～9 月

卒業を半年延長し、専攻の異なる演習・授業を履修。9 月卒業

台湾、そして韓国やベトナム、トルコで何が起きていたのかを、国際関係・社会的に理解できるように。

留学生活・大学院生活紹介



高麗大学校

韓国の御三家「SKY」の一角。李明博元大統領やキム・ヨナ元選手等、在校生・卒業生のネットワークが非常に強く、まさに「韓国社会の礎」となる学生たちに出会える。



ギャップイヤーと大学院進学後の生活

◆ギャップイヤー

国立台湾師範大学に語学留学。現地に住み、大学生と交流。見ず知らずの現地人と話す機会も必死で作り、「台湾とは何か」考えた。「大学という学術機関にいる有り難みを知る笑」

◆修士 1 年

外務省による「国際危機管理」を研究。チームの台湾・韓国研究担当となり、留学の知見を活かした。

◆修士 2 年

広報文化外交」研究予定。それまでの「国際交流」が「外交政策」の研究に昇華する。

迷ったのなら、行ってから考えよう

八島拓也(情報科学研究科/カリフォルニア大学アーバイン校留学)

学部 1 年 4 月

国際交流サークル@home に参加
IPLANET など、他にもたくさんの国際
交流団体があるので、いろいろ探してみ
ると良いと思います。

学部 1 年 9 月

交換留学生の受け入れ時期にボラン
ティアとして参加。また@home の活
動などを通して世界各国の留学生と
友達に

学部 2 年

留学生とライブに行ったり、遊びに行
ったり…引き続き国際交流系イベント
に参加

留学生と関わる中で自然と「生き
た」英語が身についた。留学経験
者の知人も増え留学に興味が…

学部 3 年 10 月

学部時代のうちの留学をあきらめきれ
ず、留学を決心、申し込み

学部 3 年 11 月～3 月

派遣留学生選抜、各種申請

各種申請は大変。

学部 4 年 4 月

Coffee Hour, 留学準備実践など、
留学に向けて英語の勉強をさらに行う

英会話を練習したい人にも
Coffee Hour や GCS-Chat は
お勧め。

学部 4 年 6 月

ビザの申請

学部 4 年 9 月

カリフォルニア大学アーバイン校にて留
学生活が始まる

学部 4 年 9 月～6 月

人工知能、統計、コンピュータビジョン
等、研究に関する講義を中心に履修

あまりにも多くの出来事があり、思
ったこと・感じたことを挙げていくとき
りがないですが、とにかく楽しかっ
た！留学を選んで本当に良かった！
大変なこともたくさんあったけ
ど、留学中の出来事を思い出すと
思わず感極まってしまうほど、充実
した留学になりました！

4 年生 7 月

帰国

4 年生 9 月

大学院試受験

勉強時間が少なく苦勞。

修士 1 年～2 年

国内会議 MIRU や国際会議 ACCV
にて研究論文発表、就職活動を経て
研究開発職に内定。

留学時に得たスキル、知識、語
学力がなければ成しえなかった成
果だと思えます。

留学生活紹介



カリフォルニア大学アーバイン校(UCI)

カリフォルニア大学システムを構成する大学
のひとつであり、コンピュータサイエンスの分
野が強い。UCI はアジア系の学生が多く、
ある意味で実にかリフォルニアらしい大学とも
いえるかもしれない。ここで学んだ人工知能
の基礎や画像処理に関する知識は現在の
研究である深層学習の応用に繋がったとい
える。



学内における国際交流

海外に行くのはちょっと…と考える人
におすすめなのが学内での国際交流。東北
大学や仙台には国際交流団体がいくつか
存在するので、まずはそこで海外との接点
を持ってみると、思わぬ発見があるかも…

語学力を伸ばすには？

留学を申請する際に壁となりうるのが英語
の勉強。どうせ勉強するなら楽しく勉強した
い！そこでおすすめなのが洋画やドラマを
用いた勉強法。洋画/ドラマなどは字幕か
スクリプト(台本)があればヒアリングの訓
練ができるし、何より観ているだけでも日常
でよく使われるフレーズが学べる。

研究留学のススメ

塚本雄也(理学研究科/ペンシルベニア州立大学留学)

学部 1年～4年 8月

部活(学友会バドミントン部)

英語の学習は、ほぼしていませんでした。

学部 4年 8月～修士 1年 3月

英語学習・修士の単位取得

TEA's English や、タイ人の友人と週4で英会話。

修士 1年前期

指導教員に留学の意思を伝える

受け入れ先期間と研究テーマの決定

研究テーマを決めるために、論文を読み込む。

研究テーマを考える難しさを痛感。指導教員の協力なしに受け入れ先や研究テーマの決定は難しいと思いました。

修士 1年 10月

給付型奨学金の応募

奨学金の中から自分の留学に合ったものを選択(COLABSとトビタテ)。

修士 1年 11月

受け入れ先の指導教員との面接(オンライン)

受け入れ先教員の研究を入念に勉強

修士 1年 2月 VISA 取得

修士 1年 3月 留学開始

修士 2年前期

研究に集中するも良い結果です....

現地のスポーツクラブ、日本人会などコミュニティに多数参加

環境を整えるのに1ヶ月は研究開始までにかかると思います(研究室の案内や安全講習など)
スポーツは仲良くなるのに最適だと思います

修士 2年後期

専門 2科目、英語のクラス、研究

単位取得を目的としていませんでしたが、人数に余裕があれば、交渉次第で興味のある授業を受講できます。

修士 2年 10月

研究成果が出始める

成果が出るまでは、何をやりこここまで来たんだろうと悩むことがすごく多かったです。

修士 2年 1月

帰国

最初は不安ばかりでしたが、終わってみれば、最高の環境で研究でき、またここに戻ってきたいと思える場所でした。

修士 2年 1月～3月

修論発表、提出を終え修了、博士課程の試験も合格(4月から進学)

単位さえ取得していれば、留年しなくても修士課程を修了できます。研究留学は早いうちに行くと世界のレベルを肌で感じるのが大事だと思います。モチベーションの向上にもつながりますし。

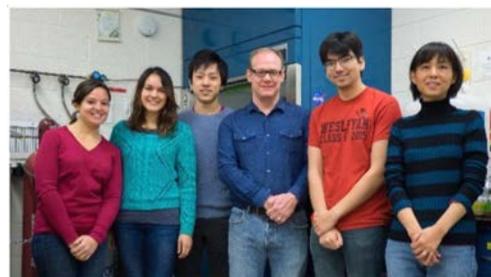
留学生活紹介



ペンシルベニア州立大学

ペンシルヴァニア州の State College という町にある大学。在校生は8万人。建築・工学・理学・経済・経営学の分野が特に強い。また、アメフトが特に人気で、ホームのビーバースタジアムは10万人収容でき全米最大規模のスタジアムです。気候も四季がはっきりしていますし、特に夏は涼しく過ごしやすい街です。

ちなみに、留学中は現地でのバドミントン部の練習にも参加していました。最初は英語もあまり話せなかったのですが、スポーツを通して言葉をあまり介さずとも仲良くなることができたうえ、いいリフレッシュにもなりました！



研究

「1200万年前当時の生息していた微生物由来のDNA抽出法の開発とその解析」という研究テーマと充実した人と設備の元、集中して研究に取り組むことができました。また、週に2回外部からの講師と大学内のゲストを招いてセミナーが開かれていたので最先端の研究を知ることができました。

GCS留学カウンセリング

留学経験者による留学希望者のための留学相談



東北大学グローバルキャンパスサポーター (GCS)は全員交換留学経験者！留学経験を活かし、皆さんの留学をサポートします！

留学準備・お金のこと・現地での生活・単位互換・帰国後の進路のことなど…
充実した留学のために、留学のことならなんでも、気軽に相談してください♪



メールで予約後、日程を調整します。
カウンセリングをご希望の方は
gcs2016counseling@gmail.com
またはFacebook・Twitterまで
ご連絡ください



2017年度 GCS メンバー

氏名	学部・研究科	学年	留学プログラム	留学先国
米田佑	教育学部	4	交換留学 (大学間)	フィンランド
小野遥太	法学研究科	M1	交換留学 (大学間)	韓国
山本日向子	経済学部	4	交換留学 (大学間)	シンガポール
柏瀬あすか	経済学研究科	M1	交換留学 (大学間)	台湾
冬木悠生	理学研究科	M1	交換留学 (大学間)	スイス
塚本雄也	理学研究科	D1	COLABS	アメリカ合衆国
工藤知央	工学研究科	M1	交換留学 (大学間)	スイス
八島拓也	情報科学研究科	M2	交換留学 (大学間)	アメリカ合衆国



編集後記

今回のGCSレターは、GCSメンバーの、留学もふくめた学生生活を紹介することで、留学にかかわる悩みを持つ東北大学の役に立てたらな、という思いで作成しました！編集担当としては、一緒に活動していたにもかかわらず、知らなかった他のGCSメンバーの留学生活や若かりし頃(学部1年生など)のエピソードも読むことができ、本当に留学も含めた学生生活は十人十色だなと感じました。これを読んでくださった皆さんに、少しでも留学を「楽しそう」「自分も挑戦したい」と思っていたければ幸いです。ご覧いただきありがとうございました。

(2018年3月 編集担当 柏瀬あすか)